

公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会
令和7年度 第8回ハイブリッド開催定時理事会報告

日 時：令和7年10月9日(木) 13時～17時00分

場 所：JSOSビル3F 会議室5 及び Zoom

出席者：

町田 幸男	石井 昭彦	原 勇人	安井 博志	藤江 理枝
廣川健太郎	吉田 春彦 (欠)	下村 真一	小高 令子 (欠)	西原斗司男
畑中 渉	中橋 沙羅	蛭田 伸一	栗田 季慎子	
望月 啓治	星 一男	野村 善弥	中島 隆之	監事
赤尾 浩一	石田 英行	古賀 英年 (欠)	平田 伸也	古屋 寿隆
小田部 拓	武田 豊明	前田 善彦	奥井 健吾	佐久間 務

理事 出席者：23名 欠席者：3名
監事 出席者：2名

1. 開会

2. 会長挨拶

先日、滋賀国スポが開催された。ドラゴンハットという大きな屋内会場で約7000人の観客を集め素晴らしい大会となった。国スポ後催県の方も視察などで来場され、現状の問題点を聞くことができ、早急に対応していく必要があると認識した。

また、10月は第61回全日本登山大会が兵庫県山岳連盟の尽力で開催される運びとなっており、参加予定の方はよろしくお願いします。

本日も多くの議案があり効率よく進めたいと思うので、円滑な議事進行をお願いします。

3. 会議成立状況報告

理事数 26名中 23名出席 監事数 2名中 2名出席
(定款第33条、定足数=14名(過半数以上))

4. 議長選出

会長が議長をつとめる(定款第32条)

5. 議事録署名人

会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題

議案第1号 前回理事会議事録の承認について

すでに、内容の確認は完了しており以下のとおり承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第2号 組織管理運営規程の改定について

望月専務理事が、前回の理事会以降に委員会等で協議・集約されてきた事項を反映した改定案を説明した。

主な質疑事項として、

①ガバナンス委員会が総務企画部に組み込まれると独立性保持に懸念が生じるという問いに、当該委員会は案件に対し内容を整理し理事会に答申する機関であり最終決定は理事会が行うとともに、第3者機関としての裁定委員会は別に立ち上げるので独立性について問題はないとの回答

②登山普及委員会の分掌において「一般登山者」又は「全ての登山愛好者」のどちらが適当かとの議論には前者を採用などがあった。

以上、これまで出された意見を集約し、本日付けの全部改定として採決し、以下のように異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第3号 第3期募集基金の割り当てについて

望月専務理事が、第3期募集基金の申し込みが個人4名、2団体、計38口 総額190万円となったことを報告するとともに、申し込み全額を割当てすることを提案し、以下のように異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第4号 JMSCA 公認主任検定員認定規約の改正について

蛭田理事が、資料を基に変更内容を説明し、改訂日を10月9日とする改正案を提案し、以下のように異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第5号 滋賀国スポに関わる感謝状贈呈について

原理事が、滋賀県山岳連盟および国スポ委員会からの感謝状贈呈の上程案を説明し、望月専務理事が補足説明後、以下のように異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第6号 2026年新春懇談会の開催方法について

望月専務理事が、登山部とSC部で分けている課題等を説明後、新春の催しとしてふさわしいJMSCA全体の会とするための当日のスケジュールや内容の素案を提示した。開催予定日と、SC選手派遣日が重なることが判明したので調整することとなった。実行委員会を立ち上げ、準備、運営面で事務局ばかりでなく理事、委員会にも幅広く参加してもらう。

これらの方向性について採決し、以下のように異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第7号 (群馬) 国スポリード壁4ルート化(拒否)問題の対応について

原理事が、資料を基に経緯と回答案(案4)を説明し、異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第 8 号 補正予算について

望月専務理事が、資料を基に説明し、SC 強化事業及び SKIMO 事業に関する補助金の交付決定などを反映した補正予算案を提示した。一旦取りまとめるが、追加の補助金交付決定や協賛金の補正などの必要があるため、すぐに第 2 次補正作業を行うことを説明したうえで提案し、以下のように異議なく承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 23 名

議案第 9 号 10 月末時点の収支・キャッシュフローの状況及び短期運転資金の確保について

赤尾事務局長が、予算管理表、資金状況と対策案の説明を行ない、望月専務理事が、役員などからの借入案を説明し、異議なく承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 23 名

7. 報 告

報告第 1 号 業務執行理事の業務執行報告について

各業務執行理事が、執行内容の説明をした。

報告第 2 号 山岳共済会主催の登山講習会の実施について

廣川副会長が配布資料を基に説明した。

報告第 3 号 登山部によるホームページ・SNS 等での情報発信の進め方について

廣川副会長が配布資料を基に説明した。

報告第 4 号 後援名義承認申請への対応について

望月専務理事が、配布資料を基に、山の日協議会主催の【第 7 回全国「山の日」フォーラム ～山と防災～】について後援名義使用が常務理事会で承認されたことを報告した。

報告第 5 号 SKIMO 日本代表選手のワールドカップ(米国)派遣について(一部変更)

小田部常務理事が、遠藤選手が出場辞退となったことに伴い、1 名（萩原選手）を追加したことについて常務理事会で承認されたことを報告した。

報告第 6 号 UIAA 総会への出席について

廣川副会長が、全日登山大会と日程とかけ合い、日本からの提案議事もないことから現地での総会参加は見合わせることを報告した。

報告第 7 号 国際大会派遣選手選考について(International Speed Master Meishan2025

およびアジアキッズ選手権 2025)について

望月専務理事が資料を基に説明し、常務理事会で承認されたことを報告した。

報告第 8 号 IFSC クライミンググランドファイナルズ福岡 2025 派遣選手の決定について

望月専務理事が、メールによる臨時常務理事会で承認された旨を説明した。

報告第 9 号 SC 部ブロック別研修会の実施について

望月専務理事が、配布資料を基に説明した。原理事が、ガバナンス委員会から講師派遣を廣川委員長に依頼した。

報告第 10 号 イラン山岳スポーツクライミング連盟からの来日招待状発送依頼への

対応について

望月専務理事が、資料を基に説明し、観光ビザを、渡航者が発給申請することにし、JMSCA が関わらない方向で手順を集約予定と話したが、先方からの確認項目が残っている状況を説明した。

安井理事が、今期からアジア系チャンプに参加予定であることを追加説明した。

報告第 11 号 今後の役員派遣ほか渉外等について(10 月～11 月)

望月専務理事が、資料を基に予定を説明した。

その他

- 1 確認願い 令和 7(2025)年度上半期事業報告の各委員会による確認・記載
望月専務理事が、資料を基に説明し追加書き込みの協力を求めた。
- 2 確認願い 会員・役員の名簿について
望月専務理事が、資料を基に説明し、変更、追加が必要であれば、10 月 16 日までに返信するように協力を求めた。
- 3 確認願い 全日大会プログラム、功労者表彰、広告原稿、岳連旗
望月専務理事が、兵庫県山岳連盟から依頼されていることの確認を行った。
- 4 確認願い JMSCA フレンドにおける自然保護指導員証の取り扱い
小高理事が、900 数名の指導員証をどのようにするか、11 月中旬の全国会議で説明する必要があるため、担当委員会等からの説明を求めた。詳細については、10 月 15 日行われる会議で協議することになったが、更新や新規など一部の指導員について、従来どおり紙で出す選択肢もあげられた。
- 5 日山協の旗について
赤尾事務局長が、要望があれば配布することを伝え、別途メールで案内することを伝えた。

8. 各委員会議事録について

導入したクラウド「BOX」は秘匿性が高い一方、多数の者がファイルの出し入れをするには煩雑である。SC 部は既に google ドライブに委員会議事録を保存済であることから、登山部を含む他の委員会の議事録も同様の取り扱いとする方向となった (DX チームで検討)。

令和 7 年 10 月 9 日

記録

赤尾浩一